

区分・種別	国宝(工芸品)		
名称	ぼたんからくさもんひょうごくさりたちこしらえ 牡丹唐草文兵庫鎖太刀拵 1口		
所在地	今治市大三島町宮浦		
所有者	大山祇神社	管理団体	
指定年月日	明治34年6月27日 国 昭和30年6月22日 国宝		
解説	<p>こしらえ 拵は、総長97cm、つか <small>さめがわ</small> 柄は白の鮫革で包み、ななこじ 魚子地に牡丹唐草文高彫の金銅の覆輪<small>ふくりん</small>をかけ、牡丹文の大形依鉾<small>びょう</small>を表裏4個ずつ打つてある。鞘<small>さや</small>は金銅の地板に大牡丹を線彫りし、銀銅無文の長覆輪をかけている。鐺<small>つば</small>は金銅の木瓜形で厚い覆輪をかけ、これに牡丹唐草の高彫を施し、地板の四隅には猪目を透かし、大切羽<small>おおせつば</small>のあたる箇所だけ鍍銀<small>とぎん</small>している。大切羽は長木瓜形で牡丹唐草文の透かし彫りである。総金具は金銅製で牡丹文の高彫を施し、おびとり 帯取の兵庫鎖は三筋編みである。</p> <p>なお、刀身は無銘で長さが60.9cm、つなぎの程度のもので焼刃がない。</p> <p>切先はかます切先である。</p> <p>この作品は14世紀鎌倉時代の作といわれ、牡丹文をあしらった兵庫鎖太刀は鎌倉時代に大流行したが、これはその一典型である。他の遺例では巖島神社（広島県）に3口、丹生都比売神社（和歌山県）に2口、須佐神社（島根県）に1口ある。</p> <p>この太刀は、護良親王の奉納品と伝えられ、『集古十種』<small>しゅうこじゅっしゆ</small>にも載っている。</p>		

